

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Little Labo			公表日	令和7年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		活動中に利用児童が十分なスペースを確保できるよう机やイスなど配置に気を配り、常に安全な環境設定を行っています。	今後も利用児童の人数や活動内容によって、その都度環境設定を最善なものに変更し、安全に活動が行えるよう環境を整えてまいります。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		現在基準より多い職員を配置しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		入り口に段差はあるが、安全に昇降できるよう手すりを設置しております。	現在バリアフリーが対象となる児童はいないが必要に応じて検討してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の掃除に加え、ハイターを使用した消毒を行っています。空調も空気清浄機の設置や定期的なエアコンフィルター掃除を行っています。	目の届きづらい場所の清掃も定期的に行うよ心掛けていきたいと思います。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要に応じて個室にて落ち着くことが出来るような環境を整えています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		毎月ケース会議を開催し、全職員で情報共有や個人の課題の確認を行なっています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		アンケート結果を踏まえた業務改善をすぐにを行い、保護者様のご意向に沿ったより良い支援を心掛けて努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		日々のミーティングを行い職員の意見を把握し業務改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	現在第三者による外部評価は行えておりませんが、内外の研修資料を参考にして業務改善を行っています。	第三者からの評価審査は、今後の検討課題といたします。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部の研修に赴き研修の機会を確保しています。今後も研修の機会を設けて職員の資質の向上を図ります。	職員の資質向上のためより多くの研修を受講する機会を検討してまいります。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援プログラム作成のうえホームページにて公表しております。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		定期的にアセスメントを行ない子どもや保護者様のご意向に沿った支援計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		児童発達支援管理責任者だけでなく職員全体で子どもの最善の利益を考慮した検討が行えるよう話し合いを行っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画に沿った支援が行われるよう支援前の情報共有と役割分担・配慮事項などの確認を継続して行います。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		標準ツールを使用した使用とともに必要に応じて改善をしております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		令和6年4月の法改正にて順次新様式に変更しております。ガイドラインに即したねらい及び支援内容を踏まえながら適切に具体的な支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		個別の課題に沿った活動計画を職員全体で立案・計画しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		季節や時期・児童が興味・関心を持てる活動を通じて、個別の課題に応じた活動プログラムを年間計画に沿って行っています。	今後とも子どもたちが興味関心を持てる活動を計画し活動プログラムが固定化しないよう工夫してまいります。

供	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		児童の成長や障がい特性に合わせて個別活動と集団行動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		支援内容や役割分担などを支援開始前に話し合い共通理解をしています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		より良い支援ができるように支援終了後には振り返りを行ない、職員全体で情報共有をしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		経過記録で児童の変化を共有し支援に活用しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		今後も定期的にモニタリングを行ない、児童の現状把握を行わないながら計画の見直しの判断をしています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		日々の活動に「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っています。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		活動や自由時間を通して子供たちが自己選択・自己決定が出来る機会を作り支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		会議には管理者と児童発達管理責任者が参画しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		関係機関と連携がとれるよう体制を整えており、必要に応じて情報提供・情報共有を行っていきます。	必要に応じて適宜連携を行っていきます。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者や学校と連携を図り下校時間や年間行事の把握に努めています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		9	現在対象となる児童がいないため就学前に利用していた関係機関とは情報共有を行うことができません。	今後必要に応じて情報共有と相互理解に努めてまいりたいと思います。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		9	現在対象となる児童がいないため、障害福祉サービス事業所とは情報共有は行っておりません。	今後必要に応じてそれまでの支援内容等の情報を提供してまいりたいと思います。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		必要に応じて地域の児童発達支援センターの研修を受けております。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	9		近くの公園やイベント等で障害のない児童と活動と一緒に行う機会があります。	現在より多くの地域の他の子どもたちと交流が出来る機会を計画してまいりたいと思います。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		9	現在自立支援協議会への参加はできておりません。	今後積極的に参加ができるよう調整をしてまいりたいと思います。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		今後も連絡帳や送迎時に、支援内容や活動の様子を伝え保護者様との情報共有を図っています。	子どもの発達状況や課題についてより詳細に共通理解が出来るよう工夫してまいります。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		今後も児童の成長におけるお悩みやかかわり方にについて相談を受けた場合、その都度資料等を準備して丁寧に対応させていただきます。	
-	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		引き続き丁寧で分かりやすい説明を行なってまいります。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者からは面談時の聞き取りで意向確認を行い、子どもからは通所時の関わりの中で意向を確認しております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		放課後等デイサービス計画を示しながら説明を行い同意を得ております。	今後も放課後等デイサービス計画を示しながら不安の少ないよう丁寧に説明していきます。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		連絡帳や送迎時、面談時などに子育ての悩みやご相談に回答・助言などをしております。	今後とも保護者様からのご相談には適宜対応し職員間で共通理解を図ります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		保護者様やご家族が参加できるようなイベントを開催しております。	保護者様同士が相談できる機会等の相談があつた場合には検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		保護者様からの苦情申し入れには解決に向か迅速に対応し、職員間で情報共有ができるよう整備しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月「Little Laboだより」を発行し、VOOMにて活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の取り扱いには十分に注意し、鍵付きの書庫にて保管をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		児童の特性に合わせて視覚的にわかりやすい方法を提供しております。今後も特性に合わせて配慮しながら丁寧に伝えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		事業所内での夏祭り等のイベントの際に保護者様をはじめ、地域の方々を招待し、地域に開かれた事業運営を行っています。	より地域に開かれた事業運営を行うため別途イベントや行事を検討してまいりたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		入口にそれぞれのマニュアルを配置し、保護者様に見ていただくことができるとともに3ヶ月に1度避難訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		3ヶ月に1度非常災害に備えて避難訓練を行っています。また、BCPの策定も終えております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		事前に服薬やてんかん発作等の状況を確認し定期的に変化が無いか保護者様へ確認をおこなっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		事前の聞き取りや提出書類で確認を行なっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全管理マニュアルをもとに日々の環境整備の中で点検作業を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		子どもの安全確保にどのような時にやむを得ず身体拘束を行うかなど面談時に詳細に説明を行い周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットが起こった際には事業所内のミーティングにて情報共有を行い再発防止に向けて話し合いを行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止の研修を開催し、職員間で情報共有と認識を一致させ虐待防止に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		今後も緊急時や命に関わるときなどのやむを得ない状況に限ることを保護者様に十分に説明・同意を得て支援計画にも記載してまいります。	